

開発中

# ウェアラブル生体計測機器 熱中症予兆チェッカー

## 開発背景

近年、地球温暖化の影響等により、異常高温の発生頻度が多くなり、これに伴って作業中に熱中症を発症して医療機関に搬送される事例が急増しており、その発生件数は平成25年度には5万件を超え年々増加の傾向を示しています。このため、熱中症の発生メカニズムに着目し、温熱性発汗による累積発汗量（※1）と脈拍の上昇（※2）の傾向から**熱中症の予兆現象を検知**し、その生体情報から個々の作業員に警報（注意喚起）と管理者に通報する「**熱中症予兆装置**」を開発しています。（特許出願中）

### 従来技術の融合

ライフケア技研の発汗チェッカー

※1 温熱性発汗量を計測するパッチ



目盛りが進行します。>>>  
発汗の積算量が青い目盛りで表れます。

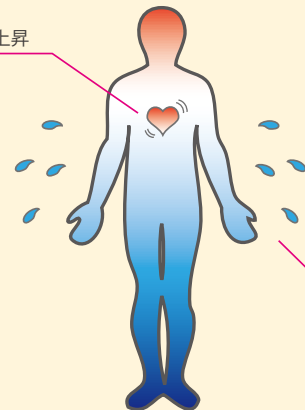


ウェアラブル機器  
手首に装着する腕時計型デジタル機器  
時計の他、アプリの実行、演算処理、  
通信を行うことができる。



### 熱中症の予兆（2つのチェックポイント）

※2  
脈拍の上昇



※1  
水分の不足

## 商品特長

開発中の「ウェアラブル熱中症予兆チェッカー」は生体計測機器で、前腕部の局所の発汗量を電氣的に測定することによって全身発汗量を算出する自社開発の発汗センサ（※3）と脈拍センサ（※4）から構成し、身体の状態を連続的に測定する熱中症の予兆を調べる機器です。

一定発汗量以上で発汗が低下し、脈拍の増加する状態を熱中症の予兆として捉え、計測情報をスマートフォンに送信し（※5）本人に注意喚起し、管理者に通報（※6）することができます。

「ウェアラブル熱中症予兆チェッカー」は身体に装着しても作業に支障がなく、危険作業やスポーツなどの熱中症のリスクの高い場合の他に、屋外での仕事などの一般人の日常生活でも使用し、注意喚起できる利点がある国内外に**類似品の無い画期的な製品**です。



（図はイメージです。）

製造元

 **ライフケア技研株式会社**

〒930-0834 富山県富山市問屋町2-4-15

TEL (076) 411-0201 FAX (076) 451-2610

URL <http://www.lifecare-giken.co.jp> / E-mail [info@lifecare-giken.co.jp](mailto:info@lifecare-giken.co.jp)